

2021 年度「初級コース」「日曜大工コース」実習内容例

(2022 年度は変更される可能性があります。)

木造基礎および実習Ⅰ	「はかる」ことを中心に、建設の空間構成、スケール感、部材構成などの感覚を体得する。墨付け、罫書き、垂直出し、墨出しなどを通じて、人体寸法、計測・測量にかかわる道具の扱い（差金の使い方などを含む）、同時に数学的原理などについて習得する。（道具箱の製作）
木造基礎および実習Ⅱ	木造建築の接合部（仕口・継ぎ手）を4種類制作する。「きる」（切る、刈る、剪るに加え、彫、削などを含む）ことを中心に、木材加工に必要な基本的加工法を身につける。のこ挽き、ほぞ穴のみ加工、かんながけ、孔あけなどの実習を通して、道具の用法、手入れ方法を学び、道具と加工について理解を深める。
木造基礎および実習Ⅲ	木造建築の屋根構造の基本である平行垂木の小屋組模型を制作することを通じて、木造建築の基本的な小屋組の部材構成、基礎的な木組みの加工方法、初歩的なさしがねの使用方法等に触れながら、木造建築の代表的な小屋組の構成とそれを実現させている加工技術の基本について体験的に理解することを目指す
木造基礎および実習Ⅳ	木造建築の屋根構造の基本である棒隅木の小屋組模型を制作することを通じて、木造建築の基本的な小屋組隅部の部材構成、基礎的な木組みの加工方法、さしがね裏目の使用方法等に触れながら、木造建築の代表的な小屋組の構成とそれを実現させている加工技術の基本について体験的に理解することを目指す
木造応用および実習Ⅰ	木造軸組工法による小規模木造住宅を模した軸組構造の基礎的な設計施工を行う。間取図、伏図、設計図、矩計設計、尺杖作成、木拾書作成を行い軸組構造を完成させる。建物の軸組構造の設計と施工を実習を通して学び、木造建築の生産システムを総合的に理解する。
木造応用および実習Ⅱ	木造軸組工法による小規模木造住宅の基礎的な設計施工を行う。間取図、伏図、設計図、矩計設計、尺杖作成、木拾書作成を行い、1チーム1棟建設する。建物の軸組、屋根工事、外装仕上を実習を通して学び、木造建築を総合的に理解する。